

安全データシート

作成日 2021年10月5日

改訂日 2021年11月17日

1. 製品及び会社情報

製品名	: 石定盤用ワックス
会社名	: 新潟精機株式会社
住所	: 〒955-0055 新潟県三条市塚野目 5 丁目 3-14
電話番号	: 0256-33-5502
FAX 番号	: 0256-33-5528
担当部門	: PT 事業部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的及び化学的危険性	: 分類基準に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入/蒸気)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入/粉塵・ミス)	: 区分に該当しない

ト)

皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な 損傷・眼刺激性	: 区分 1
生殖細胞変異原生	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分 2
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 区分 2(腎臓、全身毒性、中枢神経系)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)

: 区分 2

性)

水生環境有害性 長期(慢性)

: 区分 2

性)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

- : H315 皮膚刺激
- H318 重篤な眼の損傷
- H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- H371 腎臓、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H411 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

- : P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P264 取扱い後は手、顔をよく洗うこと
- P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- P281 指定された個人用保護具を使用すること。

応急処置

- : P302+P352 皮膚に付いた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P313 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- P309+P311 暴露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- P310 直ちに医師に連絡すること。
- P321 特別な処置が必要である(このラベルの"4.応急処置"を参照)。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P391 漏出物を回収すること。

保管

- : P405 施錠して保管すること。

廃棄

- : P501 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : ワックス剤
 成分及び含有量
 文書交付対象成分 : 該当成分なし

成分名称	CAS 番号	含有量 (%)
カルナウバワックス	非公開	非公開
多価アルコール	非公開	非公開
脂肪酸エステル	非公開	非公開
陽イオン界面活性剤	非公開	非公開
水		残量

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静にして医師の診断を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とし医師の手当てを受ける。
 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。速やかに眼科医の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、コップ 1~2 杯の水を飲ませ、安静にして直ちに医師の手当てを受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
 使ってはならない消火剤 : 情報なし
 特有の危険有害性 : 情報なし
 特有の消火方法 : 消火活動は可能な限り風上から行う。
 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 関係者以外は安全な場所に退去させる。
 消火を行う者の保護 : 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 除去方法 : 少量の場合、乾燥砂、ウエス等に吸収させて、密閉できる容器に回収す

る。

大量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策 : 直ちにロープ等を張り関係者以外の立入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚、粘膜及び着衣に触れたり、眼に入らぬように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気 : 換気の良い場所で作業する。

注意事項 : 容器はその都度密閉する。
換気の良い場所で取り扱う。

安全取扱注意事項 : 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
本安全データシート(SDS)を作業場に掲示するなどして、作業者に危険有害性等を周知すること。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に密閉して保管する。
凍結させない。

横に倒して保管しない。

子供の手の届くところに保管しない。

容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖、前掛け等)、長靴

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 液体
色	: 淡褐色半透明
臭い	: ほぼ無臭
pH	: 約 5.8(原液,25°C)
融点・凝固点	: 情報なし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: なし
燃焼または爆発範囲の 上限・下限	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
比重(相対密度)	: 約 1.00(原液,25°C)
溶解度	: 水に溶解及び分散
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
粘度	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の使用条件では安定
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件では安定
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: (区分外)
急性毒性(経皮)	: (区分外)
急性毒性(吸入／蒸気)	: (区分外)
急性毒性(吸入／粉塵・ミスト)	: (区分外)
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激(区分 2)
眼に対する重篤な損傷／刺激	: 重篤な眼の損傷(区分 1)

性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器	: 情報なし
皮膚	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: (区分外)
発ガン性	: 情報なし
生殖毒性	: (区分外)

特定標的臓器・全身毒性
(単回暴露) : 腎臓、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ(区分 2)

特定標的臓器・全身毒性
(反復暴露) : 情報なし

誤えん有害性 : 情報なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に毒性(区分 2)

水生環境有害性 長期(慢性) : 長期的影響により水生生物に毒性(区分 2)

残留性/分解性 : 情報なし

生態蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 該当しない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬事業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬事業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : クラス 9 有害性物質

国連番号 : 3082

品名 : 環境有害物質(液体)

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 該当

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 該当しない

毒物及び劇毒物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない

16. その他

引用文献	: 原料供給者情報	
	: 化学物質管理促進法データ	化学工業日報社
	: GHS 分類結果データベース	製品評価技術基盤機構
	: 労働安全衛生法対象物質全データ	化学工業日報社
	: 危険物船舶輸送及び貯蔵規則	海文堂
	: 安全データシートの作成指針	日本化学工業協会編

記載された危険性・有害性の情報は現時点で入手できた資料や情報に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払ってください。記載事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。本データシートは、日本国内法令・日本化学工業協会の SDS 作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意ください。